

## 野洲駅南口周辺整備等に関する市民懇談会 要録

日 時	令和5年10月28日（土）10時00分～12時05分
場 所	総合防災センター 2階研修室
参加者	21名
案 件	文化施設集約化に向けた方針案について 及び にぎわい創出に向けた野洲駅南口周辺整備事業について
内 容	別添資料をもとに、文化施設集約化、野洲駅南口周辺整備事業についてそれぞれ説明を行い、その後に質疑応答を行った。質疑応答の概要は以下のとおり。

### 『文化施設集約化に向けた方針案』に関する質疑応答（概要）

▶：質問・意見、⇒：答弁

▶冒頭の挨拶で多数の参加と言われたが、今日も参加者が少なくがっかりしている。6月に開催された市民懇談会も市民数名と市議会議員だけであり、この問題に対する市民の関心が低いと感じた。市民全体の意向が反映されているのか心配である。市長はよく概ね賛同をいただいていると言うが、大きな間違いである。

⇒昨年度から十分議論を尽くし、様々な場面で意見を伺ってきたため、参加者が少なかったのではないかと考える。

▶駅前のシライシアター野洲を残すことは市民の当然の意向だが、南口整備の中で一体的に考えてはどうか。サウンディングや委員会でも、文化施設が入れば賑わいのある良いものになるとの意見があったのではなかったか。

⇒駅前のシライシアター野洲に集約する方針を示しているが、新築ではなく改修を想定している。駅前については、従来のホール機能が今後も存続する前提で提案を求めており、一体的に整備を進められるものとする。

▶文化ホールの改修では、PFIで運営まで民間にやってもらうことは考えないのか。そうすることでお金をかけずに整備できるのではないか。

⇒PFIであっても、新築で約100億円の建設費については、後年度に市の負担となるため、改修する方針としている。

▶シライシアターを存続する案は歓迎する。文化協会としても有難く思っている。施設規模、立地、収容人数の面で現在のシライシアターが最低条件である。市民の発表の場を残して欲しい。

▶昨年度にさざなみホールに集約で決まったと聞いて喜んでいたのに、何故決定が変わったのか。さざなみホールに課題があることは分かるが、工夫でなんとかできるのではないか。アンケート結果で駅前の意見が多かったとのことだが、昨年度は財政面から比較的新しいさざなみホールを残すと判断したのではなかったか。教育長はさざなみを残し、駅前にもホール機能が残せるようはたらきかけていくと説明していた。病院は意見を聞かないのに、何故こちらは変更したのか。しっかりした説明がないと納得できない。

⇒昨年度は教育委員会で判断した案を提示したものの、「説明会等での結果のまとめが恣意的である」、「市民の声を聞くべき」との意見を受け止め、もう一度市民の意見を伺うこととした。

また、教育委員会は当時分かり得る資料で財政面の判断をされたものだが、今年度コンサルタントに委託して調査した結果、さざなみホールは継続して使用するにはリスクが高いことが判明したため、シライシアターに集約するのが合理的という結論に辿り着いた。

- ▶懇談会と銘打っているが、一方通行の説明会ではないか。前回は参加したが、十分な質疑応答がなかった。アスベストの問題も指摘したが、調査はできているのか。  
テーマの設定によって答えが変わってくるため、一体で考える必要がある。広い意味で有効活用を考えないといけない。  
⇒アスベストについては、法に基づき設計の中で適切に対応する。
- ▶市が考えているホールは狭い文化になってしまっている。もっと広い野洲市の歴史や文化も含めた施設を作って欲しい。野洲市ならではの若者が来なくなる駅前を大所高所から抱き合わせで議論すべきである。
- ▶サウンディングや野洲駅南口周辺整備構想検討委員会では、市の考える駅前の賑わいが抽象的との意見があった。野洲市のやりたいことを明確に示し、もっと柔軟な発想で文化ホールと一体的に考えるべきではないか。
- ▶駅前で一体的に考えれば、文化ホールの建替えもできるのではないか。改修することになれば、工事中は文化芸術祭等の行事や興行ができなくなってしまう。
- ▶以前のさざなみホールへの集約は、教育委員会が勝手に決めたような説明だったが、市民に説明する前には市長にも協議しているのではないのか。
- ▶さざなみに決定したと言って旧中主側の住民を喜ばせておきながら、考えが及ばずシライシアター野洲に集約する方針に変更することになったことを反省して、まずは謝るべきではないか。  
⇒教育委員会は違った視点で検討され、所管所属の中で決められたことである。昨年度の教育委員会案に対しては多くの否定的な意見があったことから、もう一度市民の意見を問うべきというところから検討してきたものである。
- ▶文化ホールであった説明会では、市は決定とは言っていなかった。さざなみホールでの説明会では言い方が違ったのかもしれない。12月議会に提案するスケジュールの説明もあったが、利用率等の必要な情報が抜けており、決定できるような資料ではなかった。文化ホールでの説明会の参加者は、教育委員会が案を説明し、市民の意見を聞いているという受け止めだった。  
⇒昨年度の説明会は、教育委員会の案を示して説明したものである。シライシアター野洲を残すべきとの意見を多数いただいたことから、市民の声に真摯に向き合い、再度検討してシライシアター野洲に集約する方針に至った。  
さざなみホールの跡地についても提案しているが、ご意見を伺いながらより良い施設にしていきたい。
- ▶文化ホールのアスベストについては、過去に建設した業者に調査してもらい、使用されていないとの報告があったと記憶している。
- ▶さざなみホールの跡地については、旧中主地域の方と意見を交わして進めてもらいたい。

## 『にぎわい創出に向けた野洲駅南口周辺整備事業』に関する質疑応答（概要）

▶：質問・意見、 ⇒：答弁

- ▶Dブロックを含めて野洲駅南口周辺整備を行う方が、より有効な土地の利活用ができるのではないか。  
⇒野洲駅南口周辺整備構想において、Dブロックについては、文化機能を設置することとしている。  
この構想に基づき、シライシアター野洲（Dブロック）の大規模改修に取り組んでいくことを示した上で、A・B・Cブロックの公募提案を行うことから、Dブロックを含めた駅前周辺整備の検討を進めているものと考えている。
- ▶過去の事業者からのサウンディングで、土地を売却する際は、市の購入価格より上げないで欲しいとの意見もあったと伺っているが、どのように考えているか。  
⇒これから民間事業者公募をするにあたり、どのような公募要項とするか検討中であるが、市が恣意的に土地の価格を操作するようなことはせず、市場価格で提案をいただく予定である。
- ▶アンケート結果における駅周辺に希望する施設では、マンションの希望が少ないが、民間事業者からの提案で、マンションの占める割合が大きい場合、その案が採用されることはあるのか。  
⇒A・B・Cブロックの大半がマンション（住居機能）となるような提案をいただいたとしても、整備構想の内容に沿わないため採用することはない。  
ただ、野洲駅前のポテンシャルを鑑みて、住居機能を組み合わせた複合的な提案が整備構想に沿ったものであれば、排除しない考えである。
- ▶公募要項の中に、土地の転売を禁止する旨の内容を含めないのか。  
⇒一般常識の範囲内で、公募要項を定めていく考えである。
- ▶野洲駅前の渋滞対策を踏まえた整備計画を検討いただきたい。  
⇒駅前ロータリーの渋滞は、課題として認識しており、ロータリーからBブロック方面に抜けられないか、公安委員会と協議中である。  
渋滞対策については、今後も、駅前整備と併せて検討していく。
- ▶現状、野洲駅前で開催されるイベントは少ないように思えるが、市民広場を設ける必要はないのではないか。  
⇒無駄な使い方とならないよう、検討していく。
- ▶長期的に考えると、土地は売却せず、貸付の方が相応しいのではないか。
- ▶アンケート結果では、カフェ・喫茶店等の飲食店を駅前に希望する結果となっているが、近隣店舗の現況を踏まえた上で検討いただくようお願いする。  
⇒飲食店を設置しても数年で撤退とならないよう、民間事業者から提案をいただく際は、実現性が伴ったものか見届けていきたいと考えている。

- ▶かつて野洲駅南口にあった温浴施設の運営は順調に推移していたと聞いているので、そういった過去の事例や民間事業者からの意見を参考に、より良い駅前となるよう整備を進めていただきたい。
- ▶草津駅のように、駅2階とペデストリアンデッキを繋げ、にぎわいのある方面へ誘導するような仕組みを検討してはどうか。
- ▶今回の市民懇談会で発言した意見は、今後の駅前整備計画に反映されるのか。  
⇒市民懇談会は、意見交換を行う場であり、いただいた意見は採用可能なものであれば、今後の整備計画にも含めていきたい。  
また、意見交換を行うことで、駅前周辺整備の理解を深めていただきたいと考えている。
- ▶市有地を売却してしまうと、今後、駅前を大きく変える必要性が生じた際に、市ができる選択肢が狭まることから、駅前構想は100年先のような、より長期的な視点で検討すべきである。  
⇒駅前の土地は、売却のみを前提としたものではなく、売却・貸付いずれも想定している。民間事業者からは土地利用に関する提案をいただき、そこから優れたものを選択していく予定である。
- ▶公共の場所で、マンションのように個人所有の建物を認めるべきではない。  
駅前に高層マンションが建設される場合、そこに住む住民は満足かもしれないが、周囲の景観が損なわれ、住民以外のものにとっては不利益となるのではないか。  
⇒整備区域内でマンションのみの提案であれば土地利用の観点から採用することは難しいが、複合的な施設であれば検討する予定である。
- ▶今後、滋賀県立高等専門学校を市三宅地先の森を切り拓いて整備されるが、どこで緑を補うのか。駅前に緑の空間を設けることも意義があるのではないか。
- ▶野洲駅前整備にあたっては、野洲市出身の広瀬宰平の顕彰施設等、野洲市独自の歴史・文化を生かしたものにするとともに、市外在住者や若者も集客できるよう、多目的な利用を想定した計画を検討いただきたい。  
⇒若者が集まり、多目的に活用できる市民広場を必須機能としている。  
市内には、駅前のみならず図書館や銅鐸博物館等の施設があり、総合的に歴史・文化振興を図っていきたい。
- ▶マンション整備は、近隣の土地評価額が上がる可能性もあり、反対しないが、マンションありきではなく、にぎわいの創出をメインに計画いただきたい。
- ▶土地は公共・公益に供する目的で活用いただくとともに、将来を見据えて借地利用をお願いしたい。
- ▶駅前はスーパーや飲食店だけで賑わいを作るのは難しいことから、シライシアター野洲を含む各ブロックの土地を有効に活用し、人を集めることを念頭に計画いただきたい。

- ▶市民広場については、雨天時や避難場所としても活用できるよう大屋根を設けていただきたい。大屋根があれば、多目的に利用が可能であり、景観も優れていると考えられる。
  
- ▶施設整備にあたり、高さ制限は設けるのか。
  - ⇒民間事業者からいただく提案については、現在の規制に則ったものを予定しており、整備エリアで高さ制限を設けることは考えていない。
  
- ▶整備する施設に一定の高さが必要な場合、高さによる景観を損なわないよう、A・B・Cブロックに限らず、Eブロックも含めた土地利用を検討してはどうか。
  - ⇒野洲駅南口周辺整備構想の中で、Eブロックについては、交流施設を設ける位置づけとしている。  
まずは、A・B・Cブロックを先に整備する考えであるが、野洲病院が駅前以外に整備することとなった経緯もあり、現市立野洲病院の跡地利用と合わせて、Eブロックの有効な土地利用について検討を進めていく考えである。
  
- ▶市民広場について、オクトーバーフェストのような大きなイベントを実施するには、1,000 m<sup>2</sup>程度では不十分ではないか。
  - ⇒1,000 m<sup>2</sup>は、市民広場として必要最低限確保する面積であり、この面積に収めようとするわけではない。今後、全ての駅前整備構想の中で、市民広場のあり方について検討していきたい。